023044	立ち上つた久原房之助：これから何をするか	森川肇	言語	2	56	28
023045	房州の伝説	平山無石	言語	2	56	28
023046	国民指導要路の御方へ	木村彦蔵	言語	2	56	28
023047	日本を如何に再編成するか	清水天眼	言語	2	56	28
023048	産業戦・思想戦を如何に戦ふべきか	村田敬三	言語	2	56	28
023049	労働組合と赤化運動	能勢淡二	言語	2	56	28
023050	近代無政府主義運動史	柳沢善衛	言語	2	56	28
023051	吾々の見た組合と政治	柳沢善衛	言語	2	56	28
023052	暴力団狩後始末	柳沢善衛	言語	2	56	28
023053	早教育と天才	三和一男	言語	2	56	28
023054	日本農民党政策解説	三和一男	言語	2	56	28
023055	ドル買後日物語	河部宕	言語	2	56	28
023056	活社会のからくり：世間の裏を覗く	奈緒順	言語	2	56	28
023057	政界財界膝栗毛	奈緒順	言語	2	56	28
023058	ロシア対イラン政策の史的考察	高橋高貞	言語	2	56	28
023059	立志美談	岩崎英祐	言語	2	56	28
023060	日本は何故、戦争をしなければならぬか其の根本原因と国民の覚悟：青少年必読本	太田長次郎	言語	2	56	28
023061	癌腫の食物療法	国谷豊次郎	言語	2	56	28
023062	大陸国策と安井誠一郎	国守武夫	言語	2	56	28
023063	反共運動の三巨頭	国守武夫	言語	2	56	28
023064	露満国境切迫す	近藤啓助	言語	2	56	28
023065	物理学実験法	萱島栄	言語	2	56	28
023066	化学新教科書	萱島栄	言語	2	56	28
023067	生徒化学実験指針	萱島栄	言語	2	56	28
023068	宮城・京都御所拝観記	間宮竜真	言語	2	56	28
023069	明日の政権を担ふ人々	小林友治	言語	2	56	28
023070	戦雲の欧洲に欧米の機密室は躍る	小林友治	言語	2	56	28
023071	防護団叢書	岩城弥太郎	言語	2	56	28
023072	爆撃対防空：現代空中戦に於ける都市攻防	岩城弥太郎	言語	2	56	28
023073	日独同盟の機運その必然性の検討	黒木正磨	言語	2	56	28
023074	日独防共協定の検討	黒木正磨	言語	2	56	28
023075	大東亜建設の構想	長谷長次	言語	2	56	28
023076	陸軍大学校第二学年現地戦術	森寿	言語	2	56	28
023077	馬術	森寿	言語	2	56	28
023078	第二軍縮会議に備へよ	伏見武夫	言語	2	56	28
023079	裏から見た林の没落と近衛内閣の成立：政界・財界今後の動向	伏見武夫	言語	2	56	28
023080	海の生命線南洋	菊島福寿	言語	2	56	28
023081	理想的行政機構改革案	梅原喜宗	言語	2	56	28
023082	「協同主義の経済倫理」批判：昭和研究会の言語魔術細部剖析	中山幸	言語	2	56	28
023083	革新思想と革命思想：現代思想批判のために	中山幸	言語	2	56	28
023084	新経営形式「営団」の思想背景について	中山幸	言語	2	56	28
023085	産業設備営団について	中山幸	言語	2	56	28
023086	新政治力の結集について	中山幸	言語	2	56	28
023087	革新思想と革命思想：現代思想批判のために	中山幸	言語	2	56	28
023088	私有財産制度の危機	中山幸	言語	2	56	28
023089	最新熊崎式速記学講義	松崎平策	言語	2	56	28
023090	日銀法改革の思想的陰翳	上野信雄	言語	2	56	28
023091	大家族主義経済理論	石川徹舟	言語	2	56	28
023092	大正年間産婆試験問題解答	川口浩	言語	2	56	28
023093	小学校体操：文部省教授要目準拠	燕昇司和平	言語	2	56	28
023094	時代は明朗	燕昇司和平	言語	2	56	28
023095	調査資料	都甲文雄	言語	2	56	28
023096	松島、金華山、平泉めぐり	丹野寅之助	言語	2	56	28
023097	政友会は如何に満鉄を喰物にせし乎	木田勝治	言語	2	56	28